

笑いを楽しむ

＜ ヒトは何故笑うのか ＞

講義日 2026年1月30日(金曜日)

講 師 関西学院大学准教授 松坂崇久先生

講義内容 笑いあり、考えさせることあり、人生において必要な笑いとは。

ヒトとチンパンジーとの違いを科学的調査を通して詳細な内容のお話を伺うことが出来、真剣に聞き入った。先生のタンザニアにおいて自然に生息しているチンパンジーの観察研究内容をスライドを通してのお話には感動した。



人は生物として十数万年を経て、猿～ゴリラ～チンパンジー～ヒトへと進化してきたが、人は笑うがサルは笑わない。わらったように歯を見せるのは、本当は恐怖の表れである。テレビなどに出演しているチンパンジーやサルは調教された表情であり本当の笑いとは言えない。

人と一番近いチンパンジーとの比較

人	チンパンジー
人は思いがけない事が起きると笑う	チンパンジーにはない
笑いは伝播する。笑いを共有する	1頭だけが感じ、伝播しない
おどけて見せて笑わせる事を楽しむ	おどけに対する笑いはない
失敗に対する照れ笑い。嘲笑	失敗に対する笑いはない

人は何故笑う様になったのか？

生存し続けるために役立つこととして身に付いて行った。

人を笑わせる行動が他者とのコミュニケーションに必要なものとなった。

笑いが人の健康上重要なものとして認識した

ユーモアは、社会的優越感＝人間関係の向上＝遊びや生活の活性化につながる

笑わせることは、相手を喜ばせること、利他的な行動である

笑いは生きていく上での手段として有益である

笑いはチンパンジーにはない。ましてサル、ゴリラには全くない。人間独特のものである。

実に面白い講義であった。

人生大いに笑って過ごそうではありませんか。

初対面の人にも、「こんにちわっはっはーこんばんわっはっは」



(1班広報担当)